

## 【令和2年度 川崎市政策・調整会議】

件名：「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」（案）の策定について

日時：令和2年8月19日（水）10：45～10：49

場所：第3庁舎18階 大会議室

### ●付議理由

気候変動を本市が直面する差し迫った課題と捉え、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、めざす将来像とその実現に向けた戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、CO<sub>2</sub>排出実質ゼロに向けた取組を推進するため。

### ●付議概要

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、目指すべき方向性や基本的な考え方、2030年の中間目標（2030年マイルストーン）の設定、先導的なチャレンジ等を案として取りまとめ、広く市民意見を募集する。

#### 1 策定の目的及び2030年マイルストーンの設定

- ・気候変動問題は喫緊の課題であり、このことをあらゆる主体と認識を共有し、取組を加速化させることが極めて重要であることから、環境先進都市として、脱炭素社会の実現に向けた戦略を示し、気候変動への対応を先導する具体的な取組を実践
- ・川崎市地球温暖化対策推進基本計画に基づく目標（2030年度までの約10年間で約250万t-CO<sub>2</sub>削減）に加え2030年度までの約10年間でさらに100万t-CO<sub>2</sub>の削減に挑戦

#### 2 基本的な考え方と取組の柱

「消費行動のムーブメントから社会を動かし脱炭素社会の実現を目指す」を基本的な考え方と位置付け、次の3つの柱により脱炭素社会の実現に向けた取組を推進する。①市民・事業者の取組を推進する「第Ⅰの柱 市民・事業者などあらゆる主体の参加と協働により気候変動の緩和と適応に取り組む」、②市役所の取組を推進する「第Ⅱの柱 川崎市自らが率先して行動を示す」、③イノベーションの取組を推進する「第Ⅲの柱 環境技術・環境産業の集積等の強みを最大限に活かし川崎発のグリーンイノベーションを推進する」。

#### 3 推進体制

川崎市温暖化対策庁内推進本部による全庁的な取組を推進するとともに、川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）による市民・事業者との連携により取組を推進。さらに、課題やテーマに応じた柔軟な体制で多様な主体との協働・連携により取組を推進。

### ●結論

案のとおり了承。